

2020年度 第2回 帝京大学医学部附属病院 監査委員会要旨

1. 開催日：2021年3月
2. 開催方法：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、第1回と同様
 - ▶ 2021年3月4日(木)13時から集合会議を予定していたが、新型コロナウイルス緊急事態宣言延長を受けて3月8日(月)13時に変更となる。しかし、緊急事態宣言が再延長となったことから集合会議の中止を余儀なくされ、書面形式での開催となった。
3. 委員：寺尾壽夫(委員長)、秦奈峰子(外部委員)、森唯章(外部委員)、川村雅文(学内委員)
病院側：坂本哲也(病院長)、澤村成史(安全管理副院長、医療安全管理責任者)、
河内正治(安全管理部長、専従安全管理担当医師)、
上妻謙(安全管理担当副院長補佐、医療機器安全管理責任者、
インフォームドコンセント管理責任者)、
溝田淳(総務担当副院長、診療録管理責任者)、
河野博隆(診療担当副院長、診療録記載改善委員会委員長)、
安野伸浩(薬剤部長、医薬品安全管理責任者)、和久正志(事務長・書記)、
根岸希三子(安全管理部)
4. 委員が確認した内容
 - (1) ヒヤリハット・アクシデント報告件数の推移
 - (2) 全死亡・死産事例の報告件数について
 - (3) 日本私立医科大学協会医療安全相互ラウンドについて
 - (4) 新型コロナウイルス感染症に対する当院の対策および対応について
 - (5) 高難度新規医療技術評価委員会の活動実績
 - (6) 未承認新規医薬品等評価委員会の活動実績
 - (7) 新型コロナウイルス感染症における抗ウイルス薬(アビガン/ベクルリー)の委員会審査件数について
 - (8) 職員に対する医療安全研修および教育について
 - (9) 職員研修における新型コロナウイルス感染症の感染対策について
 - (10) 院内医薬品の使用状況について
 - (11) 院外処方箋への検査値の印字について
 - (12) 保険薬局からの服薬情報提供書について
 - (13) 医療機器の保守点検の実績
 - (14) 医療機器安全使用研修の実績
 - (15) 医療機器のトラブル等への対応について
 - (16) インフォームドコンセントの取り組みについて

- (17) インフォームドコンセント時の説明文書の統一化について
- (18) 当院の診療録管理の取り組みについて
- (19) 診療録質的点検・量的点検結果について
- (20) 診療録記載改善の取り組みについて
- (21) カンファレンス記録標準化シートの導入開始について
- (22) 新型コロナウイルス感染症への取り組みについて

5. 講評

病院長および各安全管理責任者から説明を受け討論を加えた結果、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防策、患者の治療方針は優れており、安全管理体制が充実していることを確認した。

手術についてのインフォームドコンセントやカンファレンスの診療録記載も改善されてきており、特定機能病院としての機能を十分発揮できる体制が一層整備され的確に実施されていることを確かめた。

今後もこの体制を確実に維持し患者にとって安心安全な最良の医療に努めていただきたい。